

G1-2023-

土 木

## 専門(記述式)試験問題

### 注 意 事 項

1. 解答時間は**1時間**です。
2. 答案用紙の記入について
  - (ア) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
  - (イ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
  - (ウ) 書ききれない場合は、裏面を使用してください。
  - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
3. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
4. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
5. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏 名
	土 木		

**指示があるまで中を開いてはいけません。**

我が国は、平成 28 年(2016 年)熊本地震、平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)、平成 7 年(1995 年)兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)等の大規模地震により甚大な被害を受けてきた。特に 2023 年は、大正関東地震(関東大震災)の発生から 100 年の節目の時期であり、今後想定される大規模地震等による被害を最小化させるという覚悟を持ち、必要な対策を円滑に進めていかなければならない。行政に携わる土木技術者の観点から、以下の問いに答えよ。

- (1) 大規模地震が発生した場合に想定される課題を二つ挙げ、それぞれ簡潔に説明せよ。
- (2) (1)で挙げた課題に対する対応策をそれぞれ一つずつ挙げ、それぞれ簡潔に説明せよ。
- (3) 大規模地震により被災した地域において、あなたが復旧・復興事業を進めていく立場にあるとしたとき、以下の問いに答えよ。
  - (a) 次の復旧・復興事業①, ②の中から一つ選び、その番号のみを明記せよ。
    - ① 道路・鉄道・海岸・港湾等のインフラの復旧・復興(被災前に比べて嵩上げや補強等を施した形で整備することとする。)
    - ② 高台への集団移転(移転先の高台は、元の居住地から数 km 離れた場所に、集団移転のために新たに造成することとする。)
  - (b) (a)で選択した事業の推進に反対意見を持つと考えられる利害関係者を一つ挙げ、その意見を簡潔に示せ。
  - (c) (b)に対して、どうすれば理解を得ることができるか、具体的な合意形成プロセスについて、あなたの考えを述べよ。